

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		1-	1
事業名	一般管理経費	会計	款	項	目
		一般	2	1	1
施策	6	語らいのあるまち	課名	総務課	
	6-4	行財政運営の充実したまちをつくる	係名		
	6-4-1	町民サービスの向上			
主要施策	② 行財政改革の推進		③ 人材育成		

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	庁舎全般的な一般管理、人事評価による職員の資質向上、定員管理による適正な職員配置と優秀な人材の採用により、町民が質の高い住民サービスを受けている。
事業内容	①庁舎全般的な円滑な一般管理を行う。 ②人事評価制度事務…目標設定と評価により、職員一人ひとりの自己成長を促す。 ③定員管理事務…事務事業を効果的・効率的に遂行するために職員を適正に配置するとともに、これからの時代を担う優秀な人材を採用する。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
指標	1	評価の納得性		未実施	86.72	%	↑	95	
	2	年次別目標職員数		214	211	人	→	216	
	3								
	4								
	5								
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B					26,062	45,562	46,586		
財源内訳	直接事業費 A				26,062	31,264	32,288		
	うち一般財源				26,062	20,328	30,433		
人件費(千円) B					0	14,298	14,298		
内訳	一般職員(人・千円)				0	2.03	13398	2.03	13398
	臨時職員(人・千円)				0	0.5	900	0.5	900

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続(事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	幹部職員の資質向上
②H30年度に実施した取り組み	H31.4月からの部制廃止	④今後の改善計画	職員の育成と優秀な人材の確保